

京都式介護予防総合プログラム構築事業について

(1) 目的

京都地域包括ケア推進機構が取り組むプロジェクトとして、亀岡市、京都府立医科大学と共同で身体機能の改善や介護保険給付費等への波及効果を測定し、介護予防事業の実施効果を明らかにし、効果的な介護予防事業の展開・情報発信につなげ、健康寿命の延伸を目指す。

(2) 実施主体

亀岡市・京都府立医科大学・京都地域包括ケア推進機構

(3) 協力団体

京都府栄養士会・京都府歯科衛生士会・亀岡市医師会・京都学園大学
京都府国民健康保険団体連合会・京都府後期高齢者医療広域連合

(4) 対象者

亀岡市内在住の65歳以上高齢者

(5) 事業内容

●体力測定・身体状況等ベースライン調査実施 【1384名】

(平成24年3月～4月実施)

●「総合型介護予防プログラム」の実施 【500名】

(平成24年5月～25年12月まで継続介入)

・運動機能向上を中心に栄養改善・口腔機能向上プログラムを加え、機構構成団体等の協力を得て開発した「総合型介護予防プログラム」を継続的に介入。



亀岡市内10地区で教室実施



マニュアルの作成

- 教室型プログラム(5地区)
週1回全15回の教室プログラム
- 自宅型プログラム(5地区)
3回の教室と日記記録等による
自宅型活動プログラム

●身体機能・介護保険給付費・医療費等による効果検証 【1000名】

・「総合型介護予防プログラム」実施群(介入群)500名と 未実施群(非介入群)500名の比較検討
・医療費、介護保険給付費の推移を、介入群・非介入群の比較により、効果測定分析を行う。

(6) 期待される効果

検証された「総合型介護予防プログラム」を普及し、効果的な展開につなげることにより、高齢者の健康維持につなげ、住み慣れた地域で暮らし続けることができる。

(7) 実施期間

平成23年度～25年度 (京都地域包括ケア推進団体等交付金事業)